

— 単元・授業構成シートの作成手順 —

【単元・授業構想シートの作成について】
単元・授業構想シートの記入例は、『We Can !』及び『We Can ! (指導編)』を基に作成しています。使用する教科書と指導書を用いて、以下の作成手順を参考にしてください。

ステップ① 指導書で、単元の骨格を把握します。(例は『We Can ! (指導編)』です)


単元目標を確認し、児童に身に付けさせたい力を描きます。

単元で扱うキーセンテンスや主な単語を確認します。

この単元で学習する内容や指導上の留意点について確認します。

単元の指導の流れを大まかにつかみます。
また、その時間に児童に身に付けさせたい力と関連した活動についてイメージできるように内容を確認します。

各時間の詳しい指導方法については、次ページ以降で確認していきます。



ステップ② 単元・授業構成シートに落とし込みます。

【手順①】
指導書の該当ページを参照し、各時間の
・「本時のねらい」
・「児童に触れさせたい表現」
※キーセンテンスを参照
・「児童の主な学習活動」
を1時間目から順に記入していきます。

【手順②】
単元計画が全て記入できたら各時間の目標として取り上げる領域に○を記入します。
※その単元で評価する領域は●を記入します。

※資料1を参考にする設定しやすくなります。

単元・授業構成シート		教科書	Unit	ページ				
(1) 単元計画								
本時のねらい	児童に触れさせたい表現	児童の主な学習活動(各授業上の留意点)						
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
(2) 各時間の目標として取り上げる領域(半時単位)を記入します。本単元で評価する項目は●を記入し、○を記入します。								
領域	第1時	第2時	第3時	第4時	第5時	第6時	第7時	第8時
L(聞くこと)								
S(話すこと)ややり取り								
S(話すこと)発表								
R(読むこと)								
W(書くこと)								
(3) 単元の終末でめざす児童のイメージ								

【作成上の Q&A】

Q1：手順①はどの程度詳しく記入したらいいですか。
A1：このシート作成の目的は、各時間の授業を、単元のゴールにつながる内容にすることです。詳細な指導内容を記入するよりも、各時間に押さえてほしいキーセンテンスや主な学習内容にポイントを絞って記入する方が毎時間のつながりが分かります。

Q2：手順③の「目指す児童の姿」の意味がよく分かりません。
A2：単元のねらいに基づいた、その単元の終末で身に付けてほしい児童の姿のことです。「こんなやり取りをしてほしい」「こんな発表をしてほしい」というモデルを英語でイメージしてください。

【手順③】
単元終末で目指す児童の姿(単元のゴール)を具体的にイメージします。
(例)
・英語でのやり取りを書く
・英語で発表する内容を書く

【手順④】
①単元・授業構成シートが全て記入できたら、手順③→②→①の順で見直します。
②見直しができたら、必要に応じて加筆修正します。

<見直しの視点>

- 「単元終末で目指す児童のイメージ」、「目標として取り上げる領域」、「単元計画」につながるがあるか。
- 「単元終末で目指す児童のイメージ」につながる学習活動が組まれているか。
- 前の単元までに学習した(既習)表現や単語なども活用できる機会を積極的に取り入れているか。